

# ウルドゥー語におけるCEFR の活用

---

5117003 前田愛美

# パキスタン国内の評価方法

- パキスタンでは、外国人に対するウルドゥー語教育が軌道に乗っているとは言いがたい。CEFR についても、浸透しているとは言いがたい状況にある。つまり、ウルドゥー語の何をどれだけ学べば、どのレベルに到達できたのか、ということを知る客観的な尺度が確立されていない。

# パキスタンでの留学生受け入れ

- 外国人向け シラバスについては、個別対応が基本（留学生の絶対数が少なく、留学生向けコースが常設できない）
- 担当する教員は、通常の授業のほかに、留学生向け授業を追加して担当
- 到達度チェックやその評価法についても大学ごとにばらつきがある
- 学部レベル、大学院レベルで統一された基準はない。シラバスも大学ごとに独自色が出る

# 日本でのウルドゥー語教育の評価方法

- 日本では、東京外国語大学および大阪大学外国語学部にウルドゥー語専攻が常設されているが、現時点で統一のシラバスがあるわけではなく、大阪大学で独自の到達度目標が設定されているのみである。

		到達度目標			
		専攻語科目（1年実習）	専攻語科目（2年実習）	専攻語科目（演習）	
理解すること	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきり、そしてゆっくりと話されれば、挨拶の言葉や周辺の具体的事柄に関する、基本的な単語や表現が用いられたウルドゥー語を聞きとることができ、内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然な速さに近い速度で話されても、高級語彙や難しい表現が用いられていなければ、日常生活に関連した簡単な話を理解することができ、内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学、社会、歴史、文化等に関する内容でも、高級語彙や難しい表現があまり用いられていなければ大意を理解することができ、要点を日本語で説明することができる。</li> </ul>	
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な単語や表現が用いられたウルドゥー語の簡単な文章を理解することができ、内容を日本語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な単語や表現が用いられた簡単な文章を理解することができ、内容を日本語で説明することができる。</li> <li>十分な準備時間があれば、高級語彙が含まれ、やや複雑な構文が用いられた文章でも大意を把握することができ、日本語で説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学、社会、歴史、文化等に関する高度な内容でも、大意を把握することができ、要点を日本語で説明することができる。</li> </ul>	
表出	話すこと	やりとり (会話への参加)	<ul style="list-style-type: none"> <li>はっきり、そしてゆっくりと話されれば、自分や家族、周辺の具体的事柄に関して、ごく基本的な単語、表現を用いて対応することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然な速さに近い速度で話されても、高級語彙や難しい表現が用いられていなければ、買い物やレストランでの注文など日常生活に関連した簡単な内容の会話に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学、社会、歴史、文化等に関する内容でも、高級語彙や難しい表現があまり用いられていなければ、会話に参加することができる。</li> </ul>
		表現 (一人で行う報告など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族、周辺の具体的事柄に関して簡単な単語や表現を使って表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介や家族紹介など簡単な内容であれば、基本的な単語や表現を用いて短い話をするすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学、社会、歴史、文化等に関する内容でも、高級語彙のある程度まで用いて短い口頭発表をすることができる。</li> </ul>
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や家族、周辺の具体的事柄に関して簡単な単語や表現を用いて簡単な文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介や家族紹介など簡単な内容であれば、基本的な単語や表現を用いて短い文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学、社会、歴史、文化等に関する内容でも、高級語彙のある程度まで用いて短い文章を書くことができる。</li> </ul>	
その他	(1・2年次) 目標言語圏又は日本で実施されている公式語学検定試験についての概要 (3・4年次) 言語の応用力及び地域文化の専門的知識の習得	[公的な語学試験は行われていない]	[公的な語学試験は行われていない]	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウルドゥー語圏の文学、社会、歴史、文化等に関する基礎知識が必要とされる内容でも対応することができ、内容を日本語で説明することができる。</li> <li>自分の専門分野に関する内容であれば、専門的な内容でもその大意を把握することができ、要点を日本語で説明することができる。</li> </ul>	

# 参考資料

- 「パキスタンにおける言語教育の現状」科学研究費助成事業 基盤研究 (B) 研究プロジェクト『アジア諸語を主たる対象にした言語教育法と通言語的学習達成度評価法の総合的研究 – 成果報告書(2014) –』 – 95 – 萬宮健策

[http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ilr/ASIA\\_kaken/\\_userdata//95-97\\_Mamiya.pdf](http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ilr/ASIA_kaken/_userdata//95-97_Mamiya.pdf)

- <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/kyoumu/ns/st.html>